

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

印南町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

和歌山県日高郡印南町

3 地域再生計画の区域

和歌山県日高郡印南町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現状

本町の総人口は減少傾向にあり、1960年の12,655人から2000年には9,769人と1万人を割り込み、2015年は8,068人と55年間で人口が4,587人減少している。住民基本台帳によれば、2023年には7,915人となっている。

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、今後、人口は急速に減少を続け、2060年には3,530人と2015年の8,068人から約44%まで減少すると予測されている。(図1参照)

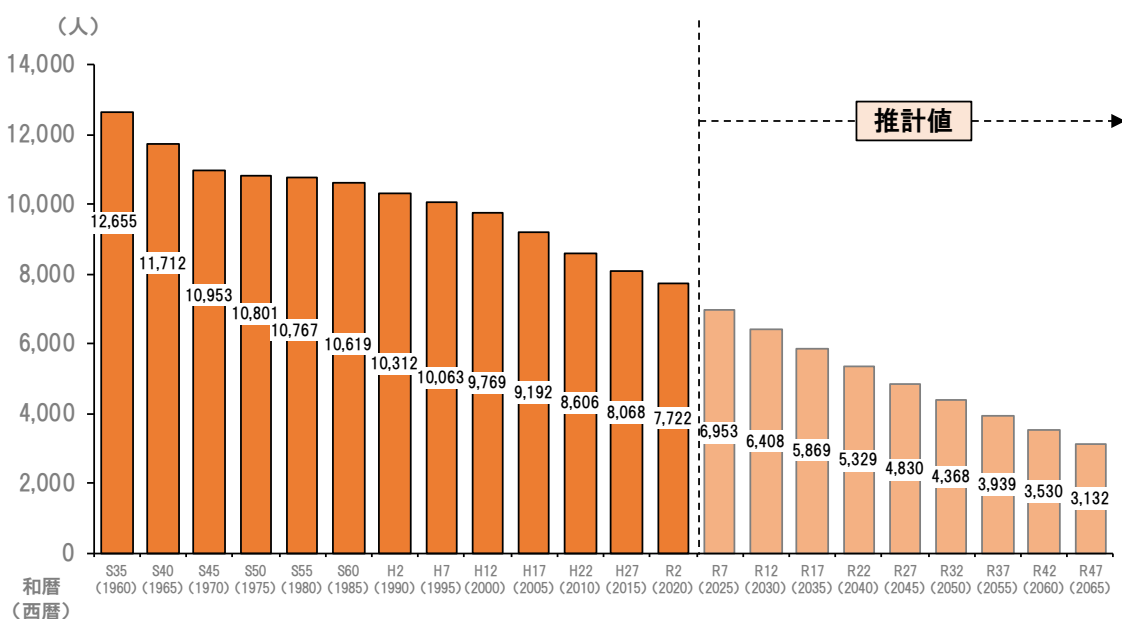


図1 総人口の推移と将来推計

(注) 推計値は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」参照。

(資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2018年推計)」)

年齢3区分別の人口推移をみると、2020年における年少人口が919人、生産年齢人口が3,831人、老年人口が2,760人といった状況となっている。

1980年以降は、年少人口、生産年齢人口が減少する一方で、老年人口は増加しており、1990年には老年人口が年少人口を上回った後もその差が拡大し続けている。

今後は年少人口、生産年齢人口、老年人口ともに減少し、人口減少が続くものと推計されている。(図2参照)

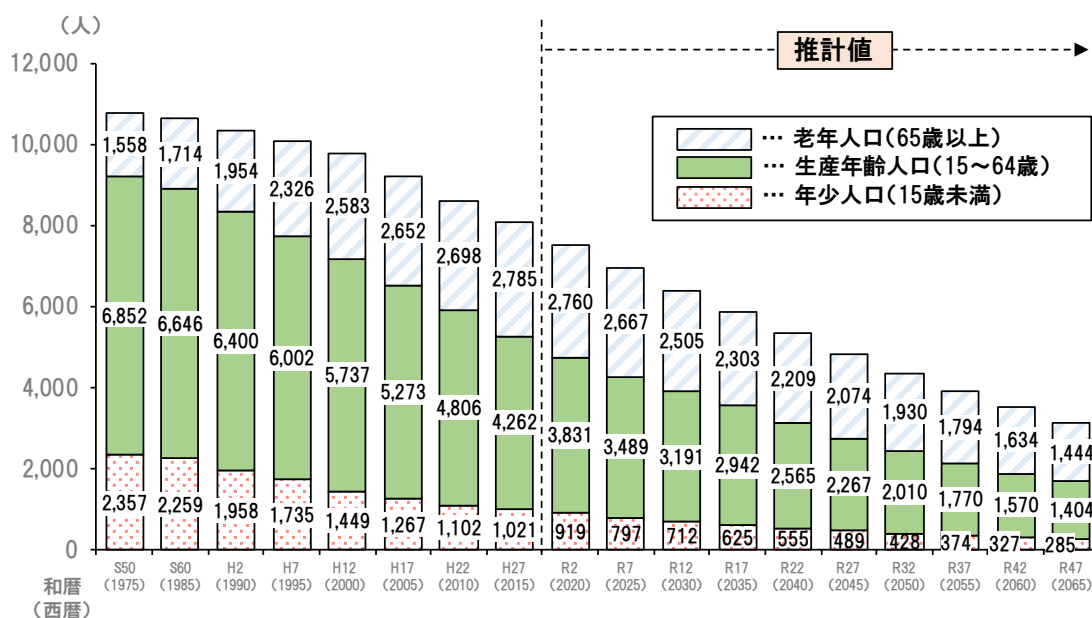


図2 年齢3区分別人口の推移と将来推計

(注) 推計値は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」参照。

(資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2018年推計)」)

本町の自然動態をみると、2022年には出生者数35人、死亡者数153人となっており、自然減(▲118人)となっている。1995年以前より死亡数が出生数を上回る「自然減」の時代に入っており、その差は年々拡大している。(図3参照)

なお、本町の2015年における合計特殊出生率は15.4となっている。

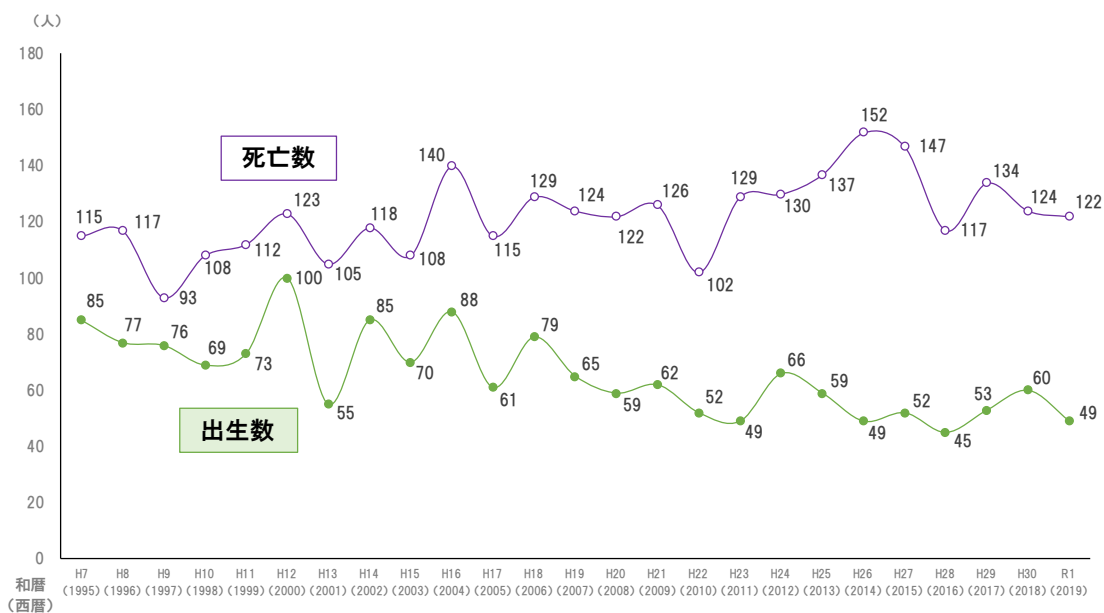


図3 出生数・死亡数の推移

(資料) 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」を参照 (RESAS 内の再編加工データを参照)

社会動態をみると、2022年には転入者数152人、転出者数164人の社会減(▲12人)となっている。1999年から2000年を除き、転出者数が転入者数を上回る「社会減」となっている。転出者数はばらつきがあるものの、1995年以降、減少傾向にあり、転入者数についても2013年以降、減少傾向にある。(図4参照)

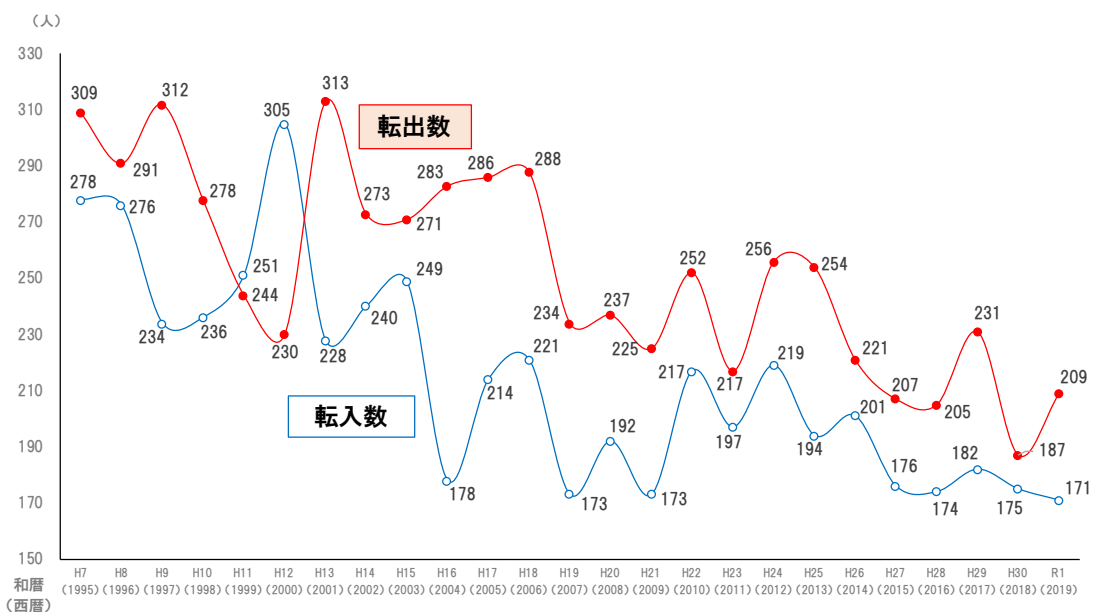


図4 転入数・転出数の推移

(資料) 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」を参照 (RESAS 内の再編加工データを参照)

4-2 地域の課題

4-1 のとおり、本町の人口は自然動態、社会動態ともに減少傾向となっており、今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、本町の基幹産業である農業においても高齢化に伴い就業者数の減少が見込まれる等、地域の活力低下が懸念される。

4-3 目標

4-2 に記載した課題に対応するため、子育て世代をはじめとする若い世代が、結婚・出産・子育て・教育の希望が実現できるよう図り自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ目標の達成を図る。

- ・基本目標① 若い世代が安定・安心・充実して働くことができるしごとの創出
- ・基本目標② 若い世代の結婚・出産・子育て・子どもの教育の希望の実現
- ・基本目標③ タウン・プロモーションによる新しい人の流れを創出
- ・基本目標④ 豊かな自然とくらしが調和した安全・安心の暮らしを実現
- ・基本目標⑤ 住みたい・住みたいと感じられる魅力あふれるまちづくりの実現
- ・基本目標⑥ 新たな時代の流れを活かしたまちづくりの実現

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	町内従業者数	2,379人	2,308人	基本目標①
イ	合計特殊出生率	1.54	1.92	基本目標②
ウ	転出超過人数	34人	6人	基本目標③

エ	「世界津波の日」印南町8千人地震・津波防災訓練の参加者数	3,000人	5,500人	基本目標④
オ	住みたい町民の割合	86.7%	90%	基本目標⑤
カ	ICT機器の世帯普及率	51.3%	84.6%	基本目標⑥

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

印南町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 若い世代が安定・安心・充実して働くことができるしごとを創出する事業
- イ 若い世代の結婚・出産・子育て・子どもの教育の希望を実現する事業
- ウ タウン・プロモーションによる新しい人の流れを創出する事業
- エ 豊かな自然とくらしが調和した安全・安心の暮らしを実現する事業
- オ 住みたい・住みたいと感じられる魅力あふれるまちづくりを実現する事業
- カ 新たな時代の流れを活かしたまちづくりを実現する事業

② 事業の内容

- ア 若い世代が安定・安心・充実して働くことができるしごとを創出する事業

子育て世代をはじめとする若い世代が、結婚・出産・子育て・教育の希望を実現できるよう、本町を含む御坊・日高圏域において、安定・安心・充実した雇用の場の創出を図る事業

【具体的な事業】

- ・ 農業林業基盤整備事業
- ・ 後継者確保事業 等

イ 若い世代の結婚・出産・子育て・子どもの教育の希望を実現する事業

結婚・出産・子育てから子どもの教育まで地域が一体となって取り組み、支援を行い、若い世代の希望を実現する事業

【具体的な事業】

- ・ 町を挙げての結婚支援事業
- ・ 不妊治療に対する助成事業 等

ウ タウン・プロモーションによる新しい人の流れを創出する事業

人口減少社会において、住民とともにまちづくりに参画する関係人口を創出するため、本町のPR（タウン・プロモーション）、観光振興、移住・定住促進を図る事業

【具体的な事業】

- ・ 大阪等での本町PRイベントの開催事業
- ・ 観光資源の発掘・魅力度向上事業 等

エ 豊かな自然とくらしが調和した安全・安心の暮らしを実現する事業

豊かな自然とくらしの調和を図るため、景観・自然環境の保全を進めるとともに、防災対策・公共施設の維持管理を実現する事業

【具体的な事業】

- ・ 地震や台風に強い道路・橋梁の整備事業
- ・ 公共施設の維持管理と学校跡地の有効活用事業 等

オ 住みたい・住みたいと感じられる魅力あふれるまちづくりを実現する事業

住民の暮らしやすさの向上を目指して、健康・福祉の増進、余暇の充実を図り、住民の声をまちづくりに活かし、住民主体のまちづくりを

現する事業

【具体的な事業】

- ・住民参加行政の推進事業
 - ・健康自己管理の推進事業
- 等

カ 新たな時代の流れを活かしたまちづくりを実現する事業

AI 等により地域課題の解決が図られる社会「Society 5.0」の実現が現実になりつつある中で、ICT 等の先端技術の活用や SDGs（世界の持続可能な開発目標）といった新たな時代の流れに沿ったまちづくりを実現する事業

【具体的な事業】

- ・デジタル人材の育成事業
 - ・本町と関連性の高い SDGs ターゲット達成への貢献
- 等

※ なお、詳細は「まち・ひと・しごと創生印南町総合戦略（第2期）」のとおりに。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

100,000 千円（2022 年度～2024 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度 11 月頃に、住民をはじめ、産業界、教育機関、金融機関、労働・雇用関係機関、メディアの代表者で組織する「印南町総合戦略策定委員会」において、効果検証・改善を行い、検証後本町ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで